



2024年3月15日発行

## 安全データシート (SDS : Safety Data Sheet)

### 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称、品番 : マグネット対応パネル用さび止め、KWMSB

供給者の会社名称 : 株式会社 LIXIL

住所 : 東京都品川区西品川一丁目1番1号

電話番号 : 0570-090-521

項目2以降は、2頁以降を参照

## 安全データシート

1. 製品及び会社情報	製品名	: ビスター（クリア）
	供給者の会社名称	: ヤヨイ化学工業株式会社
	住所	: 〒939-1272 富山県高岡市下麻生 4649
	担当部門・担当者	: 品質管理部 荒崎
	電話番号	: 0766-36-2800
	FAX 番号	: 0766-36-2050
	緊急連絡電話番号	: 0766-36-2800
	推奨用途	: 防錆塗膜剤
2. 危険有害性の要約	GHS 分類	
	物理化学的危険性	: 引火性液体 区分 2
	健康有害性	: 急性毒性（吸入） 区分 4 眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 区分 2 皮膚感受性 区分 1 特定標的臓器毒性（単回ばく露） 区分 3（気道刺激性 麻酔作用）
		上記で記載がない危険有害性は、「区分に該当しない」か「分類できない」である。
	GHS ラベル要素 シンボル	
	注意喚起語	: 危険
	危険有害性情報	: 引火性の高い液体及び蒸気 吸入すると有害（蒸気） 強い眼刺激 アレルギー皮膚反応を起こすおそれ 呼吸器への刺激のおそれ 眠気及びめまいのおそれ
	注意書き 安全対策	: 熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。 容器を密閉しておくこと。 製品を移し替える時には容器を接地すること。 防爆型の電気機器、換気装置、照明機器を使用すること。 火花を発生させない工具を使用すること。 静電気放電に対する予防措置を講ずること。 蒸気の吸入を避けること。 取扱い後は手、顔等をよく洗い、うがいをする事。 屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。 保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
	応急措置	: 火災の場合には、適切な消火剤を使用すること。 皮膚（又は髪）に付着した場合、直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。 皮膚を多量の水で洗うこと。 皮膚刺激又は発しんが生じた場合、医師の診察、手当てを受けること。 汚染された衣服を再使用する場合には洗濯をすること。 吸入した場合、空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 気分が悪いときは医師に連絡すること。

眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合には外すこと。その後も洗浄を続けること。  
眼の刺激が続く場合、医師の診察、手当てを受けること。

保管 : 容器を密閉して涼しく換気の良い場所で保管すること。  
施錠して保管すること。

廃棄 : 内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

### 3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物  
化学名又は一般名 : ビニル系溶剤形防錆塗膜剤

#### 成分及び含有量

成分	含有量	CAS.No.	官報公示整理番号 化審法
酢酸エチル	60～70%	141-78-6	(2)-726
ビニル系樹脂	30～40%	-	-
ビス[4-(2,3-エポキシプロポキシ)フェニル]プロパン	0.5～1.5%	1675-54-3	(7)-1279

※ホルムアルデヒド等厚生労働省が指定する化学物質（13物質）は使用していません。

### 4. 応急措置

吸入した場合 : 蒸気を吸入して気分が悪くなった場合は、空気の新鮮な場所に移動させて安静、保温に努め、場合によっては医師の手当てを受ける。  
皮膚に付着した場合 : 接触部位を水・石鹼で十分に洗浄する。  
場合によっては医師の診察を受ける。  
眼に入った場合 : 直ちに流水で数分間注意深く洗い、医師の手当てを受ける。  
コンタクトレンズを着用している場合は、固着していない限り、取り除いて洗浄する。  
飲み込んだ場合 : 誤って飲み込んだ場合は、無理に吐かせないで、医師の手当てを受ける。  
水で口の中を洗浄してもよい。

### 5. 火災時の措置

適切な消火剤 : 粉末（ドライケミカル）、炭酸ガス、乾燥砂、耐アルコール泡等  
使ってはならない消火剤 : 棒状注水  
火災時特有の危険有害性 : 火災によって刺激性、毒性、又は腐食性のガスが発生するおそれがある。  
消火方法 : 危険でなければ火災区域から容器を移動する。  
付近の着火源を断ち、消火剤を使用して風上から消火する。  
保護具及び予防措置 : 消火の際は、呼吸保護具、耐熱着衣等を着用する。

### 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、  
保護具及び緊急時措置  
環境に対する注意事項 : 作業の際は適切な保護具（保護手袋等）を着用する。  
漏洩した場所の周辺にロープを張り、関係者以外の立ち入りを禁止する。  
排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流出を防ぐ。  
洗浄した汚水を含め、河川等に流出させない。もし、河川等に流出した場合は、速やかに所轄監督庁等に届け出る。  
封じ込め及び浄化の  
方法及び機材 : 漏洩物を空容器に回収し、更にオガクズ、ウェス、乾燥砂等に吸収させ回収する。  
二次災害の防止 : 付近の着火源となる物を速やかに取り除き、消火器材を準備する。

### 7. 取扱い及び 保管上の注意

取扱い : “8. ばく露防止及び保護措置”にて記した保護具を着用すること。  
換気の良い場所で取扱うこと。密閉された場所における作業には、十分な局所排気装置を設けるか、呼吸保護具を着用すること。  
火気厳禁。有機溶剤取扱責任者立会いの上で取扱うこと。立入禁止の立て札を表示する等、周囲にも火気厳禁の注意を促すこと。周辺での高温物、スパーク、火気を使用しないこと。静電気の発生により、引火する可能性があるので注意すること。容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、または引きずるなどの取扱いをしないこと。  
異物の混ざった塗膜剤を容器に戻さないこと。  
使用後の容器は、中味を極力使いきった後、付着している塗膜剤を乾燥させてから、産業廃棄物として廃棄すること。

衛生対策	: 飲み込みを避けること。 取扱い後は、手、顔等をよく洗うがいをすること。
保管	: 直射日光を避け屋内の冷暗所に定めて保管すること。 保管時の温度は 5℃～35℃の範囲のこと。 (車中などでの保管は避けること) 水の掛かる場所や湿度の高い場所での保管は避けること。 酸化剤や酸、塩基から離して保管すること。 開封後は速やかに使い切ること。残った場合は、密閉して冷暗所に保管し、速やかに使用すること。 施錠して保管すること。また、子供の手の届かないところに保管すること。 200L 以上保管する場合は、危険物倉庫で保管すること。

8. ばく露防止及び保護措置	管理濃度	: 200ppm [酢酸エチル]
	許容濃度	: 日本産衛学会 200ppm [酢酸エチル] (2016) ACGIH(TLV-TWA) 400ppm [酢酸エチル] (2016)
	設備対策	: 排気装置を設けて、蒸気が滞留しないようにする。 屋内作業の場合には、局所排気装置等により作業者がばく露から避けられるようにすること。 静電気放電に対する予防措置を講ずること。
	保護具	: 使用時、保護具を着用する。 ・保護マスク : 有機ガス用防毒マスクを着用する。 ・保護手袋 : 不浸透性のゴム又は樹脂製のものを着用する。 ・保護眼鏡 : 不浸透性のガラス又は樹脂製のゴーグルタイプのものを着用する。 ・保護衣 : 樹脂又は厚手の布地の長袖、長ズボンを着用することが望ましい。

9. 物理的及び化学的性質	物理状態	: 液体
	色	: 無色～淡黄色
	臭い	: 溶剤臭
	融点/凝固点	: -84℃ [酢酸エチル]
	沸点又は初留点及び沸点範囲	: 77℃ [酢酸エチル]
	可燃性	: 有り
	爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	: 下限 : 2.2vol%、上限 : 11.5vol% [酢酸エチル]
	引火点	: -4℃ [酢酸エチル]
	自然発火点	: 426℃ [酢酸エチル]
	分解温度	: データなし
	pH	: データなし
	粘度	: 800～3,200mPa・s (23℃/4rpm)
	溶解度	: 8.1wt% (20℃/水) [酢酸エチル]
	n-オクタノール/水分配係数	: データなし
	蒸気圧	: 10kPa (20℃) [酢酸エチル]
比重(密度)	: 1.00～1.10 (23℃)	
相対ガス密度	: 3.04 [酢酸エチル]	
粒子特性	: データなし	

10. 安定性及び反応性	反応性	: 通常の実験条件下においては反応しない。
	化学的安定性	: 通常の実験条件下においては安定である。
	危険有害反応可能性	: 加熱や静電気の発生により引火、爆発の危険性がある。 強力な酸化剤や酸、塩基と反応する。
	避けるべき条件	: 高温や混触危険物質との接触を避ける。
	混触危険物質 危険有害な分解生成物	: 酸化剤、酸、塩基等。 : 燃焼により一酸化炭素、二酸化炭素等が発生する。

11. 有害性情報	急性毒性 経口	: 製品そのものの実験値は存在しない。 混合物の急性毒性推定値は > 5,000mg/kg であると思われる。
	急性毒性 経皮	: 製品そのものの実験値は存在しない。 混合物の急性毒性推定値は > 5,000mg/kg であると思われる。
	急性毒性 吸入	: 製品そのものの実験値は存在しない。 成分の急性毒性推定値は 10,000～20,000ppmV であると思われる。

皮膚腐食性／刺激性	: 皮膚に付着したままにすると炎症をおこす可能性は否定できない。
眼に対する重篤な損傷性 ／眼刺激性	: 酢酸エチルならびにビス[4-(2,3-エポキシプロポキシ)フェニル]プロパンで眼刺激性が確認されている。
呼吸器感受性又は 皮膚感受性	: ビス[4-(2,3-エポキシプロポキシ)フェニル]プロパンにて皮膚感受性が確認されている。
生殖細胞変異原性	: 現在のところ知見なし。
発がん性	: 現在のところ知見なし。
生殖毒性	: 現在のところ知見なし。
特定標的臓器・全身毒性 (単回ばく露)	: 酢酸エチルで呼吸器への刺激のおそれ、眠気及びめまいのおそれの判定がなされている。
特定標的臓器・全身毒性 (反復ばく露)	: 現在のところ知見なし。
誤えん有害性	: 現在のところ知見なし。

12. 環境影響情報	生態毒性	: 河川等に流出した場合、塗膜剤中の樹脂の付着により呼吸困難を起し、魚類が死亡する場合がある。
	残留性・分解性	: 現在のところ知見なし。
	生態蓄積性	: 現在のところ知見なし。
	土壤中の移動性	: 現在のところ知見なし。
	オゾン層への有害性	: モントリオール議定書の附属書に記された成分は含まれていない。

13. 廃棄上の注意	産業廃棄物として廃棄物の処理及び清掃に関する法律並びに都道府県条例等に基づく許可を受けた処理業者に委託する。製品使用後の容器や拭き取ったウェス等も同様である。
------------	---

14. 輸送上の注意	国連番号	: 1139
	品名 (国連輸送品名)	: コーティング液
	国連分類	: 3
	容器等級	: II
	海洋汚染物質	: 施行令別表第 1 有害液体物質 (Y 類相当)
	輸送又は輸送手段に関する 特別の安全対策	: 容器の破損、漏れのないことを確かめ、衝撃、転倒、落下、容器破損のないよう積み込み、荷崩れ防止を確実にを行う。 引火性溶剤を含有しているので火気厳禁。
	国内規制がある場合の規制情報	: 船舶安全法、ならびに航空法の規定に従うこと。

15. 適用法令	消防法	: 危険物 第 4 類 第 1 石油類 (非水溶性) 危険等級 II 危険物の数量は各容器に記載
	労働安全衛生法	: 施行令別表第 1 第 4 号 危険物 (引火性のもの) 施行令別表第 6 の 2・有機溶剤中毒予防規則第 1 条第 1 項第 4 号 第 2 種有機溶剤等 <b>労働安全衛生規則第 594 条の 2 皮膚等障害化学物質等</b> <b>[ビス[4-(2,3-エポキシプロポキシ)フェニル]プロパン]</b> 法第 57 条、施行令第 18 条 別表第 9 表示対象物質[酢酸エチル] 法第 57 条の 2、施行令第 18 条の 2 別表第 9 通知対象物質[酢酸エチル] 法第 57 条の 3 調査対象物質[酢酸エチル]
	化学物質管理促進法 (PRTR 法)	: 該当しない
	毒物及び劇物取締法	: 該当しない
	船舶安全法	: 引火性液体類 (危規則第 3 条危険物告示別表第 1)
	航空法	: 引火性液体 (施行規則第 194 条危険物告示別表第 1)
	大気汚染防止法	: 揮発性有機化合物 (法第 2 条第 4 項、環境省通知)

※ 赤字 (皮膚等障害化学物質等) については令和 6 年 4 月 1 日施行

16. その他の情報	有効期間	: 6ヶ月間 (未開封の場合)
------------	------	-----------------

記載内容は、現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては情報提供であり、いかなる保証もなすものではありません。  
また、記載事項は通常の取扱いを対象としたものですので、特別な取扱いをする場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。

参考資料： JIS Z 7252:2019 GHSに基づく化学品の分類方法  
JIS Z 7253:2019 GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法  
－ラベル、作業場内の表示及び安全データシート（SDS）

独立行政法人製品評価技術基盤機構  
「NITE 化学物質総合情報提供システム（NITE-CHRIP）」  
原材料メーカー発行の各種 SDS